

平成29年度 北九州観光コンベンション協会 事業報告書

公1：見本市・展示会事業

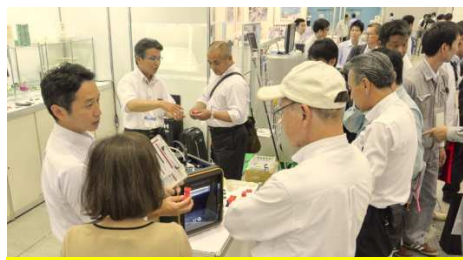
1 主催・共催事業

(1) 西日本地域の経済活性化や産業・貿易の振興に寄与するため、国や地域の行政機関等の施策や方針との連携を図りながら、各種の見本市・展示会等を企画・開催した。展示会等を取り巻く環境変化に対応するため、国や地方公共団体の政策展開の場としての展示会のテーマ開発やビジネス取引拡大の場づくりなど事業の再構築を行っている。

当協会が主催・共催した主な見本市・展示会 ()内は28年度実績

事業名	開催期日	入場者数	出展社数
ワールドマーケット&ツーリズム2017	5月3日～7日	39,065人	220社・団体
西日本製造技術イノベーション2017	6月21日～23日	19,352人	46社・団体(49)
第43回ふくおか産業技術振興展		(14,688)	23社・団体(22)
第39回西日本陶磁器フェスタ	9月14日～18日	50,854人 (49,258)	218社(205)
エコテクノ2017～地球環境ソリューション展～	10月11日～13日	31,066人 (34,896)	48社・団体(66)
エコテクノ2017～エネルギー先端技術展～			73社・団体(72)
エコベンチャー・メッセ2017			29社・団体(22)
中小企業テクノフェア in 九州2017			67社・団体(61)
P.P.C.2017 第19回西日本国際福祉機器展	11月16日～18日	22,111人 (19,903)	128社・団体(144)
合計	9事業 (9事業)	162,448人 (123,843)	852社・団体(712)

平成28年度の合計には、「SAFETEC2016(第2回西日本防災・防犯危機管理展)」の実績を含む。



西日本製造技術イノベーション2017



第39回西日本陶磁器フェスタ

【事業の効果的な推進に向けた主な取り組み】

ア 見本市・展示会の再構築

「世界のビジネス潮流」「働きかた改革」など国内外の動向を見定めつつ、各展示会の目的や意義と経済効果を勘案しながら、展示会の魅力向上と事業の共通化による効率運営を目指して事業の再構築に取り組んだ。

「西日本製造技術イノベーション」における取り組み

「IoT」「ロボット」「ビッグデータ」「AI」により製造業が迎える第4次産業革命の概要と先駆事例についてのセミナーを開催した。また、地元中小企業への産業用ロボットの普及促進を目的としたセミナーや、航空機産業・自動車産業を中心に注目を集める高機能素材「CFRP(炭素繊維強化プラスチック)」を地場に普及・啓発することを目的とする特別企画展を開催した。

年間プロポーザル制度の導入

開催直前に集中する業務を削減するために、個別に行われていた装飾施工業務や電気工事業務の入札を年度で一本化する「年間プロポーザル委託制度」を実施した。

イ 国際化の推進

国内市場が縮小するなか、海外との取引拡大の機会提供に注力した。

エコテクノ～地球環境ソリューション展～国際環境ゾーン

韓国釜山市より2社・団体、香港から行政機関が出展し、セミナーの参加やビジネスマッチングの実施などにより取引拡大を図った。

ウ 成果のあがる展示会の構築(継続的マッチング支援)

主催展示会での販売促進や商談の支援のため、出展社とユーザーとの橋渡しに努め、より大きな成果が得られるように会期前後の活動を強化した。

製造技術マッチングフェア(商談会)

展示会を介した地域中小企業の販路拡大支援として、(公財)福岡県中小企業振興センターの協力を得て「製造技術マッチングフェア(商談会)」を開催した。

中小企業テクノフェア in 九州2017 ビジネスマッチング事業

大手企業OBの技術者で構成する「NPO法人北九州テクノサポート」と連携し、事前準備・マッチング実施・フォローを行うとともに、コーディネータ向けに出展社がシーズ説明を行うなど、ビジネスマッチングをきめ細かくサポートした。

(2) 主催・共催事業と並行して関連するセミナー、シンポジウムを開催した。

(93テーマ、参加者数4,663人)

2 関係団体との連携事業

(1) 主催事業における産学官連携

主催事業のうち、産業技術分野の展示会では、国、県、北九州市や大学、関係団体、研究機関等と連携し、効果的な事業推進を図った。

(2) アジアとの連携・交流

ア 韓国BEXCO(釜山国際展示場)とのMOU事業

平成27年10月のMOU締結以来、BEXCOと主催事業の相互出展やベトナム環境展において九州企業の販路拡大を支援してきた。また、同展示場と関係の深いMESS KOREA社(釜山市)や上海CHC-EXPO社(上海市)と相互出展事業の検討を始めた。今後、新たな企画開発なども検討する。

イ アジアの関係団体等への展示会出展誘致活動の充実

エコテクノに韓日産業技術協力財団を通じて韓国企業7社が出展して商談を実施した。また、BEXCOが主催する「ENTECH釜山」とのブース交換により韓国企業2社・団体が出展したほか、香港貿易発展局も出展し、展示とプレゼンテーションを実施した。さらに、西日本国際福祉機器展内にて「KORECA」のPRブースを設けた。なお、当協会からは「ENTECHベトナム」「ENTECH釜山」「KORECA2017」に出展した。ベトナムでは2社の商談がまとまるなど新たな成果が見られた。

(3) 新規見本市の開発

西日本総合展示場開館40周年記念及び「西日本インポートフェア&食メッセ」の後継事業として「ワールドマーケット&ツーリズム」を開催。国内の離島、山村から、海外(イタリア、韓国、タイなど)まで幅広いエリアからの出展・参加があり、各地域の観光・物産・食の魅力を来場者に紹介することができた。また「体験」をテーマに内容の充実を図ったステージイベントやワークショップは多くの観客を集め、ゴールデンウィークの賑わいづくりに貢献した。

(4) 誘致事業と主催事業とのコラボ開催

「西日本製造技術イノベーション」の開催に併せて、産報出版(株)主催の「2017ウエルディング・フォーラム in 西日本」を誘致し、一体的開催で相互集客に貢献した。

(5) 災害復興支援

平成28年4月の熊本・大分地震災害と、平成29年7月の九州北部豪雨では、展示会に関する様々な団体・企業が被災した中で、主催事業の活用等により復興支援に取り組んだ。

ア エコテクノ

被災した熊本・大分両県の実業・エネルギー関連企業の販路開拓・情報発信の拡大の一助となるべく震災復興支援ブースを設けた。(参加数7社6小間)

イ 西日本陶磁器フェスタ

九州北部豪雨で多大な被害を受けた小石原焼を応援するブースを設置。作品展示と復興支援金の募金を実施し、集まった50,429円を小石原焼陶器協同組合に寄付した。また、被災窯元を対象とした無料出展スペースを設け、窯元への出展支援も行った。

ウ 第7回国際将棋フォーラム in 北九州

大会イベントで開催したプロ棋士との「チャリティー指導対局」の参加費用の全額142,000円を、九州北部豪雨被災地支援として北九州市社会福祉協議会を經由して被災地に寄付した。

公1：会議・大会等

1 誘致・支援事業

(1) 北九州市がグローバルMICE都市に選定されて以来、ローカルホスト及び、グローバルMICE推進協議会との連携を強化し、積極的な誘致活動を進めた。JNTOによる2017年発表では国際会議誘致件数は全国第10位とトップテン入りを果たし、国際会議都市として高い評価を得ることができた。また、海外見本市・商談会や、ICCAの総会、JNTOのキーパーソン招聘事業などに継続参加し、海外ネットワークの拡充にも力を注いだ。

なお、観光庁作成の「MICE開催による経済波及効果測定モデル」によれば、平成29年度の当協会が誘致し開催した案件による経済波及効果(間接2次波及効果、雇用効果を含む)の推計値は101億3,490万円であった。

年度別開催件数の推移 (単位：件)

区分	国際	全国	その他	合計
29年度	121	75	86	282
28年度	90	73	102	265
27年度	75	91	113	279

年度別参加者数の推移 (単位：人)

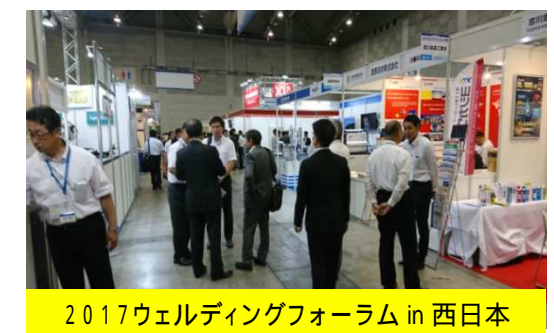
区分	国際	全国	その他	合計
29年度	35,147	89,957	89,173	214,277
28年度	44,580	104,687	53,997	203,264
27年度	47,906	108,105	63,191	219,202

(2) 国際規模をはじめとする学会・大会等の誘致に積極的に取り組んだ結果、平成29年度の開催状況は、282件となった。

また、これらの誘致活動および開催助成金の効果的な活用成果として、平成30年度以降に合計172件(平成30年3月31日現在)のコンベンションが予定されている。

29年度開催の主な会議・大会

規模	名称	開催時期	会場	規模 (外国国数、人数)
国際	The 34th Live Demonstration in KOKURA (第34回小倉ライブ)	H29年5月	西日本総合展示場新館 A1M	5,000人 (10カ国130人)
	10th Asia Academy of Management Conference, 10th Taiwan Academy of Management Conference	H29年6月	北九州国際会議場	500人 (20カ国500人)
	The 12th International Conference on Damage Assessment of Structures DAMAS2017	H29年7月	北九州国際会議場	300人 (16カ国195人)
	The 16th International Conference on Intelligent Software Methodologies, Tools, and Techniques (SOMET_17)	H29年9月	北九州国際会議場	300人 (17カ国120人)
	The 14th International Conference on Modeling Decisions for Artificial Intelligence(MDAI2017)	H29年10月	九州工業大学 戸畑キャンパス	222人 (11カ国69人)
	第34回製剤と粒子設計シンポジウム	H29年10月	リーガロイヤルホテル小倉	738人 (3カ国10人)
	Asia Pacific Symposium on Safety (APSS2017)	H29年11月	北九州国際会議場	468人 (8カ国426人)
	International Conference Asia-Pacific Hybrid and Organic Photovoltaics (AP-HOPV18)	H30年1月	北九州国際会議場	600人 (14カ国390人)
	全国	2017九州ロービジョンフォーラム in 北九州	H29年5月	北九州国際会議場
平成29年度池坊全国大会・理事会、評議員会		H29年5月	西日本総合展示場新館 リーガロイヤルホテル	4,000人
第55回日本小児歯科学会大会		H29年5月	西日本総合展示場新館 A1M	3,000人
2017ウエルディング・フォーラム in 西日本		H29年6月	西日本総合展示場新館 A1M	19,352人
平成29年度第34回全国少年少女レスリング選手権大会		H29年7月	北九州市立総合体育館	6,000人
第27回日本神経回路学会全国大会		H29年9月	北九州国際会議場	696人
第65回日本職業・災害医学会学術大会		H29年11月	北九州国際会議場	900人
西日本・九州	九州北部税理士会第52回全国統一研修会	H29年10月	北九州国際会議場	800人
	九州山口医師卓球大会	H29年10月	北九州市立総合体育館	5,200人
	平成29年度第34回九州高等学校選抜剣道大会	H30年1月	北九州市立総合体育館	5,000人



【主な取り組み】

誘致営業

新規誘致件数(平成29年度中の誘致営業により北九州市での開催が決定した件数)が319件と平成28年度を上回る結果を残すことができた。地元ネットワークを活用した情報収集に加え、そのネットワークから国際・全国レベルのキーパーソンに対してのアプローチを展開するなど多様な形で誘致活動を行った。

スポーツ誘致

第34回全国少年少女レスリング選手権大会や、第67回九州地区大学体育大会の13種の競技の誘致を行い、誘致件数は68件、延べ参加人員は11万人と、件数にして前年の111%、延べ参加人員は前年の122%の実績を残すことができた。

グローバルMICE都市事業

北九州市は、平成27年6月の「グローバルMICE強化都市」への選定に続き、平成29年4月には、観光庁より「グローバルMICE都市」に選定された。

これに伴い、地元MICE事業者との連携強化や、海外トレードショー（ドイツ、シンガポール）への出展、プロモーション強化など、精力的に事業を展開した。

2 主催・共催事業

国際会議場等を活用し、幅広い年齢層を対象に各種イベントを実施した。

イベント・大会等の企画、開催（主催・共催）（ ）内は28年度実績

事業名	開催期日	入場者数
小倉まちづくりミーティング泡盛ナイトinくら	H29年8月1日	延べ170人(延べ386人)
夏休み子どもシアター	H29年7月23日	381人(260人)
第7回国際将棋フォーラム	H29年10月27日～29日	2,494人(実績無)
第17回全国俳句大会in北九州	H30年3月3日～4日	1,510人(1,578人)

公1・収1：貸館利用者の誘致・営業強化

1 営業体制の強化

(1) 既存利用者の利用定着化及び過去の利用者の利用復活
過去の顧客データを分析するとともに、利用頻度が減少している顧客に対し、定期訪問による利用の働きかけや集客支援等の提案営業を実施し、11件の利用の復活を実現した。

(2) 新規利用者の開拓
工作機械関連やコンビニチェーンなど19件の新規展示会等を開催した。

(3) 大規模イベントの実施
8月に初の本格的な大規模コンサートとなる「THE IDOLM@STAR CINDERELLAGIRLS 5th LIVE TOUR Serendipity Parade!!!」を、3月にも「THE IDOLM@STER SideM 3rd LIVE TOUR GLORIOUS ST@GE」を開催し、本格的なコンサート会場としての可能性を見いだせた。

また、10月には、3度目となる「東京ガールズコレクション(TGC)」が開催された。

平成29年度 新規及び利用が復活した展示会・見本市等の誘致実績

催事名	催事名
LEGOワンダーフェス2017 BRICKLIVE in 北九州 (H29年4月)	F.T.W.SHOW FINAL2 (H29年5月) メガスーパーカーショー2017 (H29年6月)
DMG MORI 小倉プライベートショー (H29年4月)	全九州スーパーダンス競技大会 in 北九州 (H29年7月)
2017フードフェアin北九州 (H29年5月)	

催事名	催事名
社交ダンスメダルテスト&パーティ (H29年7月)	西日本釣り博2018出展説明会 (H29年11月)
YDデンタルフェア2017 (H29年7月)	第2回 広域技術マッチングフェア (H29年11月)
トミカ博 in KITAKYUSHU (H29年7月)	第2回 山口・広島・北九州 PPP/PFI セミナー (H29年11月)
INPACT (H29年7月)	
からだのひみつ大冒険2017 (H29年7月～9月)	福岡トヨペット運動会 (H29年11月)
THE IDOLM@STAR CINDERELLAGIRLS 5thLIVE TOUR Serendipity Parade!!! (H29年7月)	AKB48全国握手会 (H29年11月) 九州機械加工システム展 (H29年12月) 日本全国!鉄道広場2018 in 北九州 (H30年1月)
平成29年度(第67回)税理士試験 (H29年8月)	Pan Pacific Festival (H30年1月)
11/12「高橋 佳子講演会」準備会 (H29年8月)	2018春夏商品セミナー (H30年2月)
JAPAN CUP九州サーキット2017 北九州ラウンド (H29年9月)	西日本釣り博2018 (H30年3月) 公益財団法人 健和会 評議員会 (H30年3月)
Bon-Ten Cup Vol.5 (ダーツ大会) (H29年10月)	THE IDOLM@STER SideM 3rdLIVE TOUR GLORIOUS ST@GE (H30年3月)
2017北九州どてらい市説明会 (H29年10月)	
「高橋 佳子講演会」 (H29年11月)	

2 閑散期対策等のイベントコーディネート

- (1) 夏季閑散期にぎわいイベント
平成27年度に続き3度目となる「トミカ博 in KITAKYUSHU」を、地元テレビ局のFBS福岡放送と本館で7月に開催した。(来場者 約5.9万人)
また、7月末から9月初旬にかけて、3年ぶり2度目となる「からだのひみつ大冒険」を開催した。(来場者 約8万人)
- (2) 冬季閑散期にぎわいイベント
2年ぶり2度目となる「日本全国!鉄道ひろば2018 in 北九州」を1月の年始に新館で開催し、2.5万人の来場者数となった。

平成29年度 閑散期対策イベント等

催事名	会期	入場者数
トミカ博 in KITAKYUSHU	7/14～19	58,871名
からだのひみつ大冒険2017	7/27～9/3	80,865名
日本全国!鉄道ひろば2018 in 北九州	1/2～8	25,227名
合計		164,963名



トミカ博 in KITAKYUSHU



日本全国!鉄道ひろば2018 in 北九州

公1・収1：広報・宣伝、地域連携

1 広報、宣伝

ホームページにおいて、イベントの最新情報や施設の紹介、協会の主催事業やコンベンション誘致に関する情報を提供し、見やすく迅速な情報発信ができるように努めた。

2 地域連携

小倉駅新幹線口エリアの地域振興団体と共同で、異業種交流会や地域清掃イベント等を行うなど、地域の一体感形成に向けた活動やにぎわいづくりに取り組んだ。

さらにJR主要駅に近接しているという施設の特徴を生かすため、JR九州及びJR西日本との連携による、効果的な主催事業等のPRを行った。



小倉まちづくりミーティング 泡盛ナイト

公・収1：管理・運営

1 お客様満足度の向上

(1) サービスの向上

利用者からの問い合わせに対して、迅速かつ丁寧な対応を心掛け、ニーズをくみ取るよう心掛けた。ミクニワールドスタジアム来場者が展示場・会議場利用に影響が及ばないよう、ギラヴァンツ北九州等と事前に会場周辺についての打ち合わせを行い、トラブル防止に努めた。

(2) 職員の資質・能力の向上

専門講師を招いたコンプライアンス強化の内部研修を実施した。また、民間研修機関主催の若手職員フォローアップ研修の受講や、展示場・会議場施設の全国協議会のセミナーへの派遣等を行い、職員の資質・能力の向上を図った。

2 利用料金制度の活用

平成26年度からスポーツ利用減免及び名古屋市の施設との相互利用割引制度を運用しており、今後もこれらの特別料金制度を活用することでさらなる施設の利用促進につなげる。

3 管理業務の効率化

電力使用料金の低減を図るため、平成28年度より電力会社を変更し、引き続きデマンドの監視、力率の改善、空調動力の時差運転の実施等、消費電力の削減に努めた。また、LED照明への更新も推進した。

4 施設の改修等

お客様の利便性、安全性の向上等を図るため、施設設備の改修更新等を行った。

- * 展示場本館：屋外照明設備更新、火災報知器更新、非常用発電機バッテリー更新等
- * 展示場新館：西・北側外壁補修、地下排水設備更新、地下機械室吸排気ファン更新等
- * 国際会議場：全熱交換機更新、受電盤・饋電盤VCB更新、エレベータ耐震化、国際会議室調光盤更新工事、無線LAN増設等

5 西日本総合展示場本館 開館40周年記念事業

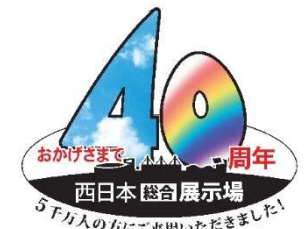
平成29年に西日本総合展示場本館が開館40周年を迎え、施設利用者や関係機関等へ感謝を伝えるとともに、今後の利用促進につなげることを目的に、記念講演会・式典の開催や、記念ロゴの制作等の記念事業を実施した。



記念式典



記念講演会



6 施設の稼働率等

西日本総合展示場本館の利用状況

区分	件数(件)	稼働日数(日)	稼働率(%)	入場者数(万人)
29年度	67	285	80.3	32
28年度	65	252	78.5	27
27年度	72	279	77.5	30

西日本総合展示場新館の利用状況

区分	件数(件)	稼働日数(日)	稼働率(%)	入場者数(万人)
29年度	179	286	79.2	69
28年度	163	299	81.8	57
27年度	166	297	84.1	65

北九州国際会議場の利用状況

区分	件数(件)	稼働日数(日)	稼働率(%)	入場者数(万人)
29年度	557	325	94.5	6
28年度	568	321	92.2	7
27年度	548	319	90.4	7

7 指定管理

指定管理期間(平成26年度～30年度)の4年目であった平成29年度は、指定管理計画に掲げた目標(来場者数(展示場・会議場)77万人、コンベンション誘致件数195件など)を概ね達成(来場者数107万人、コンベンション誘致件数319件など)した。

<参考>平成29年度 北九州市のMICE開催実績

区分	件数	参加人数	経済波及効果(間接・雇用効果を含む)
会議・大会等	282件	214,277名	10,135百万円
見本市・展示会・イベント	25件	490,949名	16,572百万円
合計	307件	705,226名	26,707百万円

開催実績の対象は、以下の2つの条件を満たすもの。ただし、展示即売など主に営業目的とするものは除く。

北九州市MICE誘致推進本部事務局(北九州市産業経済局観光にぎわい部及び当協会)が誘致・開催支援・実施したもの。北九州市地域以上を参加規模とするもの。

経済波及効果は、観光庁の「MICE開催による経済波及効果測定モデル」により算定。

公2：観光客の誘致及び滞在化の促進

1 観光客誘客事業・滞在化促進事業

(1) 他都市及び旅行社等を訪れてのPR活動

北九州市及び観光関連企業で「北九州市国内観光客等誘致促進協議会」等を組織し、国内・海外において本市の観光資源や新しい観光情報等のPRを行った。

【北九州市国内観光客等誘致促進協議会事業】

北九州市観光キャンペーン in 関西(6月26日～28日)での街頭キャンペーン及び旅行会社へのセールスや、「KitaQフェス in TOKYO」での観光PR(11月25日～26日)などを実施した。



大阪市での観光PR

【北九州市国際観光推進協議会事業】

新規インバウンド送客が見込めるタイ及び台湾における誘致助成金事業や、韓国、台湾、香港等の旅行会社へのセールスを実施し、海外からの観光客の誘致を図った。

【北九州産業観光センター実行委員会事業】

市内や福岡市でのイベントに出展し、産業観光PRを実施した。

- ・「ワールドマーケットツーリズム」(西日本総合展示場新館・5月3日～7日)
- ・「北九州マラソン2018」(西日本総合展示場新館・2月17日～18日)
- ・「祭 the kyushu」(福岡市役所ふれあい広場・5月13日～14日)
- ・「北九州産業観光フェア」(大丸福岡天神店パサージュ広場・11月24日～25日) など

(2) まつり・都市間交流事業

他都市での祭りイベントに出展し、観光PRを行った。

- ・「第22回知覧ねぶた祭り」(南九州市・7月15日): 観光PRと焼うどん等の実演販売
- ・「くまもとお城まつり」(熊本市・10月7日～8日): 北九州看板娘による観光PR

2 修学旅行誘致事業

北九州市及び修学旅行関連企業と連携し、主要都市の旅行会社へのセールス活動を行った。

【訪問都市】

- 第1回：大阪市、奈良市、津市、神戸市 計20社(主に中学生対象)
- 第2回：益田市、浜田市、邑智郡邑南町 計7社(小学生対象)
- 第3回：徳島市 旅行会社5社、中学校8校、教育委員会(中学生対象)
- 第4回：広島市、岡山市、高松市、高知市、松山市、徳島市 計39社(小・中学生対象)
- 第5回：高崎市、長野市、松本市 計13社(高校生対象)
- 第6回：さいたま市 計2社(高校生対象)
- 第7回：島原市、大村市、諫早市、長崎市、佐世保市 計19社(小・中学生対象)
- 第8回：大分市、宮崎市、都城市、鹿屋市、鹿児島市 計33社(小・中学生対象)
- 第9回：盛岡市、秋田市、仙台市、山形市 計12社(高校生対象)

3 助成事業

(1) 旅行商品企画及び北九州空港を利用する旅行商品企画への助成

北九州市国内観光客等誘致促進協議会事業として、市内の観光施設又は食事などで立ち寄るツアーおよび市内に宿泊するバスツアーを対象に、バスの台数に応じた補助を実施した。

(2) 伝統的な祭事への助成

11件の祭事に助成を行った。

公2：観光都市北九州の広報宣伝と観光情報の収集・調査

企画広報宣伝・情報収集調査事業

機関誌・観光関連書籍の発行やホームページ等の運営により、広報宣伝と観光情報の収集・調査に努めた。

(1) 機関誌の発行

季刊情報紙「誘 i n g 北九州観光だより」の発行

春号(4月1日)、夏号(7月1日)、秋号(10月1日)、冬号(1月1日) 各10,000部

(2) ホームページ等の運営

トップページ アクセス数 74,029件

フェイスブック いいね!件数 6,138件(3月31日現在)

ぐるリッチ!北Q州 アクセス数 1,121,602件(前年比約48万件的増)

(3) 観光関連書籍の発行

北九州観光カレンダー 8,500部(11月1日発行)

公2：観光に関する人材の育成及び啓発

1 百万にこここホスピタリティ運動

小倉のナイトスポットや飲食店等を紹介するマップの制作(50,000部)や、観光業務従事者の中国語(台湾語)研修等を実施した。

2 観光案内ボランティアの養成及び派遣

(1) 観光案内ボランティア制度運営

旅行会社等からの依頼による門司港レトロ地区等でのガイド活動や、イベント、祭りに合わせて設置した特設観光案内所でのガイド活動を実施した。また、ガイドのレベル向上のため観光案内ボランティア研修会を開催した。

旅行会社等からの依頼による門司港レトロ地区をはじめとするガイド活動

・ガイド件数 982件(特設観光案内所含む)

・ガイド人数 23,835名(特設観光案内所含む)

・活動者数 1,600名

イベント、祭りにあわせて設置した特設観光案内所でのガイド活動

門司海峡フェスタ(5月3日～4日)、とばた菖蒲まつり(6月3日～4日)

小倉祇園太鼓(7月15日～16日)、戸畑祇園大山笠(7月22日)

まつり八幡東 in 2017(7月29日)、わっしょい百万夏まつり(8月5日)

観光案内ボランティア研修会

・産業観光ガイド研修(7月～9月 計5回) 全体研修会(10月) 新人研修会(3月)

・「明治日本の産業革命遺産」人材育成研修への参加

・百万にこここホスピタリティ運動「中国語(台湾)研修会」への参加

(2) 北九州観光市民大学

期 間 10月11日～1月23日 計10回

会 場 北九州市立大学 ほか

受講者数 18名(うち、北九州市観光案内ボランティア登録者10名)

公2：特産品の紹介・宣伝

特産品パンフレットの作成やホームページでの紹介によるPRを行ったほか、オンラインショップ及び市内外での大規模イベント会場へ臨時売店設置により特産品を広く販売した。

(1) 特産品パンフレットの作成配布、物産展開催
市内各所へのパンフレット設置や物産展の開催、熊本城での「戦国パーク 武士の魂」において、パンフレット及び特産品の試食配布を行った。

(2) ホームページでの紹介、販売（オンラインショップ）等

・北九州観光市場	発注件数	71件
・楽天市場	発注件数	465件
・ふるさと北九州市応援寄附金返礼品	受注件数	1,329件

(3) 大規模イベント会場での臨時売店設置

主な臨時売店

<市内>

- ・サムライチャレンジ2017 : 4月15日 リーガロイヤルホテル小倉
- ・ワールドマーケットツーリズム : 5月3日～7日 西日本総合展示場新館
- ・とばた菖蒲まつり2017 : 6月3日～4日 夜宮公園
- ・第4回全九州少年少女空手道選手権大会 : 6月18日 北九州市立総合体育館
- ・飛鳥 寄港イベント : 9月21日 ひびきコンテナターミナル
- ・日本腹膜透析医学会 : 10月7日～8日 北九州国際会議場
- ・北九州市下水道100周年イベント : 10月14日 勝山公園
- ・国際将棋フォーラム : 10月28日～29日 北九州国際会議場
- ・第31回北九州市農林水産まつり : 11月18日～19日 北九州市総合農事センター
- ・第60回朝日新聞社杯競輪祭G1 : 11月23日～26日 北九州メディアドーム
- ・北九州マラソン2018 : 2月17日～18日 西日本総合展示場新館
- ・第17回全国俳句大会 in 北九州 : 3月4日 北九州国際会議場

<市外>

- ・三菱ケミカル発足記念イベント創業の地巡り
第二弾 三菱ケミカル黒崎事業所
11月7日
東京都・三菱ケミカルホールディングス
- ・北九州産業観光フェア
11月24日～25日
福岡市・大丸福岡天神店パサージュ広場
- ・KitaQフェス in TOKYO
11月25日～26日
東京都・アーツ千代田3331



イベントでの臨時売店

公2・収2：観光に関する施設の管理運営

1 観光案内所運營業務（公益目的事業）

【北九州市観光案内所運営協議会】

北九州市、九州旅客鉄道(株)、西鉄バス北九州(株)、北九州エアターミナル(株)と北九州市観光案内所運営協議会を組織し、官民一体となり市内4箇所の観光案内所におけるサービス強化を図った。

・案内件数	北九州市観光情報コーナー	6,768件
	小倉駅総合観光案内所	55,107件
	門司港観光案内所	103,181件
	北九州空港総合観光案内所	62,068件

【北九州産業観光センター】

北九州産業観光センター（北九州市、商工会議所、観光コンベンション協会）において、産業観光協力企業と工場見学等に関する調整を行うとともに、産業観光ツアー及び工場夜景クルーズへのガイド・ナビゲーターの派遣等を行った。

・参加状況		
産業観光視察	31件、	796名
工場夜景ツアー（クルーズ、バス）	21件、	1,290名
工場夜景定期クルーズ（実施主体：関門汽船株）	39件、	1,879名

2 土産品・特産品売店の管理運営（収益目的事業）

門司港レトロ地区の主力のお土産センターとして「北九州おみやげ館」を運営、免税店としての機能を活用し、外国人旅行者への特産品PR・販売を促進した。

また、TOTOMミュージアムでは、売店の運営を受託し、産業観光と連携した土産品の紹介・販売を行った。

(1) 土産品、特産品売店の運営

- ・売店「北九州おみやげ館」
- ・TOTOMミュージアムショップ

(2) 門司港レトロ駐車場の管理運営

- ・利用台数（乗用車）70,416台



北九州おみやげ館

3 小倉駅イベント広場等の管理運営（収益目的事業）

- JAM広場、JAMビジョン -

JR小倉駅3階在来線改札口前のJAM広場について、イベントや観光展などへの貸し出しを行った。

また、同場所において、大型映像装置「JAMビジョン」で、市政情報・啓発CMや観光情報、広告CM等の放映を行った。



JAM広場・JAMビジョン